

## 研究テーマ：授業時間内にターゲットセンテンスを覚えさせるための工夫

所属 高知北高等学校

氏名 前田 典子

R G S H 1

## 1 研究の背景

本校普通科は定員40名であるが生徒の状況等から2クラスに分けた学級編成をしている。担当している1年生のクラスは生徒数22名で、2時間連続で行われる授業の内1時間はALTとのチームティーチングである。

生徒たちは明るく、大半の者は授業態度がよく音読時の声も比較的大きい。これまでの3年間で最も積極的な生徒達である。反面、本校では生徒の約4割が不登校経験者であり中学校で英語の授業を受けていない生徒もいる。ALTとの授業を楽しみにしている生徒もいれば、嫌がって欠席する生徒もいる。基礎学力に大きく差のあるクラスをどのようにして教えようかと隣のクラス担当の先生ともアイデアを出し合いながら試行錯誤の授業が続いている。

## 2 予備調査

## 予備調査1 アンケート、授業評価の結果

リスニングの力がどの程度あるのか確かめるために行ったが、多くの生徒は選択問題や視覚に訴える教材を使っての授業に非常に慣れているということが改めて分かった。

## 予備調査2 授業観察の結果

参観授業のため2クラス合同で行ったが、人数が多すぎ授業に集中していない生徒が普段より多かった。ハンドアウトの項目ごとに観察結果をまとめると次のようになる。

ハンドアウト1 1) 体の部位の名称は半数以上の生徒が大体理解しているが、綴りが読めて書ける生徒は少数である。

2) Target Expressions はジェスチャーがヒントとなって大半の生徒は理解できたようだが、一部の生徒が理解できていない。

ハンドアウト2 日本語訳があっても問題が解けない生徒が数名いる。

## 予備調査3 生徒の自己評価

大半の生徒は授業に真面目に取り組んでおり程度の差はあるが今以上に向上したいという気持ちは持っているようだ。しかし家庭学習の時間が少ないため定期試験では満足な結果が得られない。

## 3 リサーチクエスチョン

授業時間内にターゲットセンテンスを確実に覚えさせるにはどうすればよいか。

## 4 仮説の設定

仮説1 ターゲットセンテンスが重要であることを強調し、今以上の反復練習をさせれば覚えるだろう。

仮説2 覚えたかどうか確かめる場面を設ければ、できないと恥ずかしいという気持ちも手伝って覚えようとするだろう。また、できたら褒め、褒められることによって意欲も湧くのではないだろうか。

仮説3 覚えた上で実際に使わせてみれば達成感が得られ次のターゲットセンテンスのマスターにつなげ易いだろう。

仮説4 定期試験等で正しく答えることができれば得点にもつながり意欲が湧くだろう。

## 5 計画の実践

期間	実践の経過	生徒の様子、反応
9/3 ~ 10/8	ターゲットセンテンスの数を絞って与え、重要であることを強調し覚えるよう指示するが反復練習をする時間がない。	覚えようとする姿勢は大半の生徒が持っているようだ。
	反復練習の時間が取れないため教室にターゲットセンテンスを掲示することにする。	
10/15	暗記テスト予告。ターゲットセンテンスの復習と反復練習。	評価に入るので頑張らなければと約半数の生徒は思っている。
10/16	ターゲットセンテンスを教室に掲示。	活用している生徒もいるようだ。
10/22	暗記テスト実施。(個々に別室にて)	3分の2の生徒はよく頑張った。
10/29	中間試験。暗記テストと同じ文を整序問題で出題。	暗記テストの得点が良かった生徒は当然だが良くできている。
11/5 ~ 19	毎時間ターゲットセンテンスを掲示。復習にも活用。反復練習は不十分なままである。	授業中に掲示を見て活用する生徒が2~3名はいるようだ。
11/26	暗記テスト 予告。テスト用ターゲットセンテンスを掲示。	掲示は活用できているようだがやる気があまり感じられない。
12/3	暗記テスト 実施。(個々に教室にて)	前回より結果は良くなかった。
12/12	期末試験。暗記テスト と同じ文を整序問題で出題。	暗記テスト の時よりできている生徒が少数だが増える。
12/19	暗記テストアンケート。	

## 6 実践の結果

ターゲットセンテンスの反復練習を実際に授業でやってみようとしたが、全く時間が取れなかった。そこで少しでも生徒の目に触れる機会を増やそうと教室にターゲットセンテンスを掲示したが、結局授業時間外で覚えさせることになってしまった。また暗記テストの結果も良かったとは言えない。

## 7 結果の検証

反復練習は時間が取れず仮説に無理があった。諦めずに初期の段階で時間をかけてやってみるべきだったかどうか判断しかねる。反復練習ができなかったため掲示を使って覚えさせようとしたが、これはリサーチクエスションの内容と異なっている。仮説2は仮説1の内容を達成してから行うものだったが、達成しないうちに暗記テストに変わってしまった。仮説4は仮説1~3をきちんとやっていないにもかかわらず暗記テストとの関連で定期試験に出題した。反復練習ができなかった時点でリサーチクエスションから逸れずに仮説1を修正し、次に進むべきだった。

## 8 成果と今後の課題

今回のアクションリサーチは失敗だった。次からは仮説を現状に合うように設定し、必要な時に適切な修正を加えながら進めるよう心掛けなければならない。失敗ではあったけれども、初めて使ってみたターゲットセンテンスの掲示は思ったより便利で今後も活用したいと思う。

